

◎昭和40年度第3回理事会(40.8.27)出席者:岡部会長,大石,水野,山内の各副会長,羽田専務理事,伊藤,板倉,宇野,久保,篠原,多谷,鏡,富所,成岡,藤田,松尾,耳野,森垣,八木,安宅の各理事および井関監事。議事録署名理事の決定:岡部会長,羽田専務理事,久保理事。A.報告事項:つぎの各項につき事務局より説明がありました;1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)「土木学会規則一部改正について」の評議員書面照会の結果を報告。4)土木学会定款の一部改正に関する文部大臣許可の件を報告。B.協議事項:1)「国土開発映画コンクール」実施方について,趣旨・募集方法・経費など原案通り可決。2)「中海干拓事業の中海周辺水域におよぼす水理学的影響に関する研究」(仮称)の受託について羽田専務理事より説明がありました。3)委員会規程について,羽田専務理事より説明があり,種々協議の結果,総務および企画担当理事が検討の上つぎの理事会にはかる。4)委員の委嘱について

- ① 表彰委員会
委員長 岡部 三郎 会長
- ② 論文賞選考委員会
委員長 板倉 誠 日本上下水道設計KK社長
- ③ 吉田賞選考委員会
委員長 福田 武雄 東京大学名誉教授
副委員長 国分 正胤 東京大学教授
- ④ 海外連絡委員会
委員 石橋 多聞 東京大学工学部
川越 達雄 建設省計画局建設振興課
橋内 徳治 西松建設KK技術研究所
篠原登美雄 運輸省港湾局建設課
津田 理 パシフィックコンサルタンツKK取締役
吉越 盛次 電源開発KK海外技術協力部
幹事 土屋 敬 日本国有鉄道技師長付
春田 精二 外務省経済協力部技術協力課
- ⑤ 軟弱地盤耐震設計研究委員会
委員 西頭 常彦 日本国有鉄道技術研究所
- ⑥ 岩盤力学委員会
常任委員 緒方 正度 電力中央研究所技術研究所
- ⑦ 昭和40年度八郎瀧干拓船越水道計画施工研究委員会
委員長 本間 仁 東京大学工学部
委員 岸 力 北海道大学工学部
久宝 保 日本大学理工学部
田村徳一郎 明治大学農学部
鶴田 千里 運輸省港湾技術研究所
永井荘七郎 大阪市立大学工学部

- 細井 正延 名古屋工業大学土木工学科
- 堀川 清司 東京大学工学部
- 溝口 裕 防衛大学校
- 幹事 出口 勝美 農林省八郎瀧干拓事務所
- 杉田 栄司 農林省農地局建設部開墾建設課
- 大月洋三郎 農林省農地局建設部開墾建設課
- 中村 武夫 農林省農業土木試験場
- 河内 三郎 農林省農業土木試験場水理部
- 中野 博視 農林省八郎瀧干拓事務所
- 幹事補佐 中村 充 農林省農業土木試験場水理部
- 青野 俊一 農林省農地局建設部開墾建設課
- 上田 達雄 農林省八郎瀧干拓事務所

◎各種委員会

(1) 第26回原子力土木技術委員会(40.7.12)出席者:左合委員長,ほか11名。議事:1)前回議事録の確認。2)原子力発電所敷地選定に関する問題について。3)第3回理工学における同位元素研究発表会について。

(2) わかり易い土木講座(仮称)編集委員会(40.7.12)出席者:福田委員長,後藤副委員長,春日屋幹事長,ほか43名。議事:1)本講座刊行の企画経過報告および主旨について。2)各委員の執筆区分および校閲区分について。3)委員会の構成およびその運営方法について。4)各委員と学会との出版に関する覚え書(案)について。5)原稿締切り期日と刊行の順序について。6)執筆要項について。

(3) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(40.7.15)出席者:関係者4名。議事:省略。

(4) 第3回表彰制度審議委員会(40.7.19)出席者:永田委員長,ほか11名。議事:1)土木学会規則改正案。2)土木学会表彰規程案。3)表彰委員会の構成および運営に関する内規案。4)技術賞の選考に関する細則。5)功績賞の選考に関する細則。6)論文賞選考運営について。7)吉田賞選考運営について。

以上の改正案を決定し理事会に星楚小委員長が報告することにし所期の目的をとげ解散した。

(5) 工事報告川俣アーチダム編集打合せ(40.7.19)出席者:駒井,土居両副委員長,ほか9名。議事:工事報告川俣アーチダムの編集作業を行なった。

(6) 水理委員会水文小委員会(40.7.19)出席者:井口小委員長,ほか5名。議事:1)国際水文学10カ年計画,第1回調整委員会報告の件。2)IHD関係事務局設置について意見の交換。3)水文学シンポジウム「試験流域について」開催

の件。

(7) 出版企画委員会幹事会(40.7.20)出席者:森,春日屋正副委員長,久保幹事長,ほか4名。議事:昭和40年度予定の22点の各出版物および土木工学叢書,わかり易い土木講座,土木年鑑等についての報告を行なった。

(8) 会誌編集委員会回顧と展望打合せ(40.7.23)出席者:関係者2名。議事:会誌50巻12号登載の「回顧と展望」の登載区分,執筆者分担などの詳細事項を決定。

(9) 文献調査委員会(40.8.4)出席者:高橋委員長,ほか16名。議事:1)会誌50巻10号登載抄録について。2)解説記事について。3)担当雑誌の件。

(10) 論文集編集委員会各部署委員会(40.8.5)出席者:村上,栗津正副委員長,ほか26名。議事:1)前回部会長会の議事を報告。2)各部署で審査中原稿の審査報告。3)新規受付原稿審査委員の決定。

(11) 会誌編集小委員会(40.8.6)出席者:樋口委員長,ほか4名。議事:1)投稿原稿審査状況報告。2)会誌50巻9号編集状況報告。3)会誌50巻10号の内容について。4)その他。

(12) 学術講演連絡委員会(40.8.6)出席者:林委員長,ほか10名。議事:1)今後の活動方針について。2)委員交代について。

(13) 海外連絡委員会(40.8.10)出席者:伊藤委員長,ほか14名。議事:1)委員会活動方針について。2)中国工程学会との交流について。3)その他。

(14) 論文集編集委員会部会長会(40.8.12)出席者:村上,栗津正副委員長,ほか5名。議事:1)各部署報告。2)論文集第123号登載原稿について。3)討議論文の取扱いについて。4)その他。

(15) 高校土木教育研究委員会土質実験指導書改訂分科会(40.8.13)出席者:関係者3名。議事:1)改訂版の原稿について。2)3軸圧縮試験方法の追加の件。

(16) 土木工学叢書委員会(40.8.17)出席者:最上委員長,ほか16名。議事:土木工学叢書の第2次出版計画について委員長挨拶ののち執筆方針,期限および配本順序,今後の作業の進め方について検討を行なった。

(17) わかり易い土木講座(仮称)編集幹事会(40.8.20)出席者:福田委員長,後藤副委員長,春日屋幹事長,ほか4名。議事:わかり易い土木講座(仮称)の執筆,編集について各部門より提出された目次案について各編ごとに調整および検討を行なった。

◎その他

昭和 40 年夏期講習会 (40.8.26~27)
会場：豊島公会堂

土木学会年中行事の夏期講習会が本年も豊島公会堂に全国から 870 名の参加者を集めて開催された。テーマは「構造工学における最近の諸問題」とし、同名の新刊書がテキストに使われた。第 1 日をコンクリート構造、第 2 日を鋼構造に分ち、それぞれ 6 名の講師によって講演が行われた。

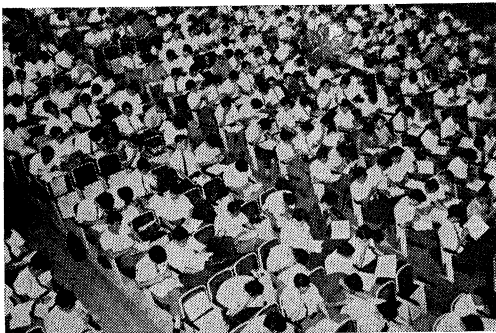
第 1 日

- 最近のコンクリート舗装
建設省土木研究所 伊東 茂富
- 軽量コンクリートの諸問題
東北大学教授 後藤 幸正
- 高張力異形鉄筋について
東京大学教授 国分 正胤
- 最近の支保工および型わく
首都高速道路公団 上前 行孝
- 最近のコンクリート混和材料
国鉄鉄道技術研究所 三浦 一郎
- 最近の注入工法における諸問題
国鉄鉄道技術研究所 樋口 芳明

第 2 日

- 最近の鋼構造の継手
京都大学教授 小西 一郎
- 高張力鋼使用上の問題点
建設省土木研究所長 村上 永一
- 薄板構造の設計施工における諸問題
東京大学教授 奥村 敏恵
(代伊藤 学)
- 鋼杭基礎工法における諸問題
八幡製鉄 KK 石井 靖丸
- 鋼橋架設上の問題点
横河工事 KK 田中 五郎
- 構造物の耐震設計および工法
東京大学教授 久保慶三郎

夏期講習会会場



支部だより

◎北海道支部

(1) 水工学に関する夏期研修会 (共催：土木学会水理委員会)

- 1) ダム・河川コース：参加人員 99 名：8月2日～8月7日
- 2) 海岸・港湾コース：参加人員 79

名：8月9日～8月14日

3) 講習科目および講師

a) ダム・河川コース

- ① ダムの spillway の設計
東北大学工学部教授 工博 岩崎 敏夫
- ② ダムの outlet works の設計
北海道大学工学部教授 工博 山岡 勲
- ③ ダムにおける sedimentation
京都大学防災研究所教授 工博 芦田 和男
- ④ 河川流出の例題解説
京都大学工学部教授 工博 石原 安雄
- ⑤ 開水路流れの例題解説
京都大学工学部教授 工博 岩佐 義朗
- ⑥ 護岸、水制、床固めの水理機能
建設省土木研究所河川部長 工博 吉川 秀夫
- ⑦ 弯曲水路の流れ
北海道大学工学部教授 工博 岸 力
- ⑧ 北海道の河川事業の特色
北海道開発局建設部長 町田 利武
- ⑨ 護岸、水制、床固めの工法設計例
建設省河川局長 古賀雷四郎
- ⑩ 水門樋門の計画と設計
名古屋大学工学部教授 工博 西畑 勇人
- ⑪ 特別講座
京都大学工学部教授防災研究所長 工博 石原藤次郎

⑫ 密度流論

東京大学工学部教授 工博 嶋 祐之

b) 海岸・港湾コース

- ① 波浪の推定に関する最近の研究
九州大学工学部教授 工博 井島 武士
- ② 波浪スペクトル論とその応用
運輸省港湾技術研究所水理研究室長 工博 浜田 徳一
- ③ 標砂論
東京大学工学部助教授 工博 堀川 清司
- ④ 標砂測定法
北海道大学工学部教授 理博 福島 久雄
- ⑤ 波圧論
九州大学応用力学研究所助教授 理博 光易 恒
- ⑥ 消波構造論
北海道大学工学部教授 工博 尾崎 晃

⑦ 波動論
北海道工学部教授 工博 岸 力

⑧ 北海道における海岸および港湾の諸問題
北海道開発局港湾部長 穴釜 正吉

⑨ 海岸保全計画論
運輸省港湾局防災課長 久保島 弘
(代講 堀口孝男)

⑩ 海岸堤防論
京都大学防災研究所教授 工博 岩垣 雄一

⑪ 河口密度流論

北海道大学工学部教授 理博 柏村 正和

⑫ 高潮および津波論

大阪大学工学部教授 工博 室田 明

記事：以上本研修の会場にあてられた北海道大学教養部は 1 昨年新築された最新完備の教室を備え、北海道大学構内の北端に位置し、付近に北海道大学農場、放牧場あるいはポプラ並木の風情あり、至って閑静なところである。北海道特有の

広大さと石狩平野をわたる新鮮な空気の甘さを胸いっぱい、受講者一同南は九州、四国からはるばる、両コースを通じて 170 余名、また講師は全国の権威 25 名、2 週間にわたり快適な研修に終始しきわめて好評であった。ちなみに、この研修開講にあたり地元当番として北海道大学工学部 岸 力、尾崎 晃、山岡 勲の 3 先生が中心となり万端行届いたお世話に当られた。一支部事務局・記一

(2) 夏期見学会 (札幌地区)

期日：40 年 7 月 23 日 (金)

参加人員：40 名

見学工事：① 静内発電所ダム工事

② 節婦漁港離岸堤工事

◎東北支部

(1) 支部役員会 (40.8.10, 建設会館 5 階第 3 会議室) 出席者：関係者 2 名。議事：1) 昭和 40 年度行事について。2) その他。

◎関東支部

(1) シールド工法講習会 (40.7.7, 発明会館)

テキスト：「シールド工法の現状と問題点」(新刊) 使用

参加者：320 名

(2) 第 3 回幹事会 (40.7.16, 土木学会) 出席者：当山支部長、堺幹事長、ほか 8 名。議事：1) 見学会について。2) シールド工法テキスト販売について。

(3) 第 7 回学生映画会 (40.7.17, 前橋市立工業短大)

映画：5 編 参加者：120 名

(4) 黒四ダム発電所見学会 (40.8.3 ~4)

見学場所：黒四ダム発電所

参加者：30 名

◎関西支部

(1) 土木公害に関する研究会 (40.8.17, 大阪科学技術センター)

第 1 部 騒音、振動について

題目と講師

- ① 騒音の影響と怒限度
京都大学工学部教授 医博 庄司 光
- ② 振動の影響と怒限度
福井大学工学部教授 工博 鳥海 勲
- ③ 発破による振動
神戸大学工学部教授 工博 畑中 元弘
- ④ 交通機関、建設工事による振動
立命館大学工学部教授 工博 畠山 直隆

第 2 部 河川汚濁、下水について

題目と講師

- ① 水資源の質的保全

- 京都大学工学部教授 工博 岩井 重久
 ② 水質汚濁とその浄化
 前大阪市水道局水質試験所長
 理博 近藤 正義

- ③ 汚水生物と水質
 奈良女子大学理学部長、教授
 理博 津田 松苗

- ④ 下水処理と水質汚濁防止
 大阪市土木局下水道部長 北村 誠一

参加者：306名 {第1部 166名
 第2部 140名

参加費：無料

(2) 土木構造物の在り方に関する座談会(第1回)(40.8.16, 京都新聞社会議室)

共催：土木学会関西支部・京都新聞社

参加者：京都市計画局長 島村 忠男
 富家建築事務所長

富家 宏泰
 京都大学教授 藤岡謙二郎
 日展審査員 山田 新一
 支部長 玉井 正彰
 幹事長 松尾新一郎

(3) 商議員交代

商議員 渥美正秋氏 西松建設KK中部支店次長に転出のため後任として 西松建設KK関西支店次長 上田 明氏を委嘱した。

(3) 第4回幹事会(40.8.17, 大阪科学技術センター)

出席者：玉井支部長、松尾幹事長、ほか幹事 16名。

◎西部支部

(1) 役員会(40.2.29)出席者：田原幹事長、ほか 27名。議事：1) 昭和40年度土木学会大会終了報告。2) 夏期講習会実施について。3) その他。

(2) 夏期講習会(40.8.19, 雲仙ユースホステル)

題目と講師

- 開会の挨拶 西部支部長 秋竹 敏実
 ① 歓迎の辞および 県下の土木事業について
 長崎県土木部長 小松 公一
 ② 地域・都市計画と交通

- 九州大学工学部教授 内田 一郎
 ③ ダムコンクリートのセメント使用量について

- 九州電力KK総合研究所 壘村 五郎
 ④ 高強度のコンクリートの特性について
 熊本大学工学部助教授 安中 久二

(昼 食)

- ⑤ 岩壁設計について
 運輸省第4港建博多港工事事務所、建設専門官 中川 茂幸

- ⑥ リバースサーキュレーション工法について
 一猿喉川橋梁の基礎工法一
 国鉄下関工事局広島改良区 原田 浩次

- ⑦ 水理模型実験の信頼性について
 宮崎大学工学部助教授 吉高 益男

- ⑧ 大規模縮切計画について
 建設省九州地建武雄工事事務所調査課長 玉光 弘明

- ⑨ 天草1号橋の設計と問題点について
 日本道路公団天草架橋事務所所長 栗原 利栄

(3) 見学会(40.8.20)

場所：天草架橋

行程：宿舎から 貸切バス～島原～三角港(汽船乗換)～海上より天草 2,3,4号橋見学～三角解散

日本工学会第15回見学会のご案内

- 日時：1965年10月28日(木) 14.00～18.00
- 見学先：南極観測船ふじ(日本鋼管KK 鶴見造船所(横浜市鶴見区末広町) 繋留中)
- 定員：100名(100名に限り先着順に参加証をお届けします)
- 集合：10月28日14.00 日本鋼管鶴見造船所正門へ集合のこと(国電鶴見線(鶴見駅発) 弁天橋・前)
- 申込期限：10月15日(はがきに第15回見学会申込と書き住所・氏名・所属学会・勤務先を記入の上日本工学会へ)
- 日本工学会：東京都港区芝罘平町35・造船協会内 電 502-2049

関東支部刊行物：シールド工法の現状と問題点頒布

体裁：B5判 156ページ 折込付図3枚

定価：800円 送料：50円

申込先：土木学会関東支部(東京都新宿四区谷1丁目・電 351-4133)

昭和40年度土木学会誌編集委員

委員長	樋口芳朗						
委員	浅谷陽治	天野礼二	茨木竜雄	上田勝基	大久保喜市	尾仲章	北田勇輔
	国広安彦	黒崎護	小坂忠	斉木三郎*	堺幸七	佐藤尚徳	渋谷祥夫*
	高橋裕*	立石俊一	寺尾英二	豊島修*	中村正平	西敏賢	前田進
	安井英夫	横山義一	吉村恒	米田宗弘			
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中西支部)	(西部支部)
	河野文弘	岩崎敏夫	番二郎	酒井清太郎	畑中元弘	川上賢司	徳光善治
	渡辺昇	倉西茂	渡辺健	増田重臣	山田善一	船越稔	沼田淳

**編集
後記**

「今日の焦点」第3回として、「公共投資と予算制度」をとりあげた。

われわれ土木技術界にある者、好むと好まざるとにかかわらず、多かれ少なかれ政府ならびに公共団体の予算制度の制約をうけている。

本年春ごろ、編集委員会で「予算制度」をとりあげようということになって準備にとりかかったものであるが、テーマがテーマだけにかなり微妙な問題もあり、どのような角度でとらえるかについていろいろと検討された結果は、「広く浅く」のつもりが単なる「上すべり」に終わった感が深い。

しかしながら、常に「予算のわく」にしばられて事業にタッチしているわれわれにとって、現在の「予算」の姿をながめどうあるべきかについてお互いにじっくり考えてみるべき時機ではあるまいか。

アンケートは、現場第1線の発注者側、受注者側はもちろん、財界、経済界、評論家その他ひろく斯界の人々70数氏におねがいましたのであるが、回答を頂いたのが9氏に止まったことは、編集子の努力の不足や設問の不備によることと思われるが残念であった。

しかし、今回とりあげたテーマのひとつひとつがいずれも大きな問題点であり、今後また機会があれば、これらテーマのひとつひとつについて、もう少し掘り下げて別の角度から検討することもまた意義があると考えます。

天野氏の「都市近郊駅の駅勢圏に関する一考察」は、最近の大都市問題の中でも通勤輸送の問題が大きいだけに、今後大都市周辺の交通機関の総合的配置についての考え方として注目される。

昨年官界を去られた樺島正二氏には「土木技術者の生活」をお願いした。

「よくぞ土木屋に生れける」との氏の感概は、共感をよぶ会員も多かろうと思われる。

今年の秋は、台風の当たり年で、各地に大被害を与えており、現に筆者の耳には、台風24号本土接近のニュースがとびこんでいる。

被災地の皆様には心からお見舞申し上げるとともに、災害復旧にあたられる会員諸氏のご健斗を祈ってやまな

【豊島 修・記】

会員の入退会について(昭和40.8.1~8.31)

入会	88名(正67 学20 特1.B 1)
復活	2名(正)
退会	12名(正11 特1.D 1)
転格	4名(学→正3 正→学1)

特別会員入退会(昭和40.8.31現在)

○入会	昭和40.8.6 特1.B 大成建設KK名古屋支店	名古屋市中村区広井町3-88 大名古屋ビル
○退会	昭和40.8.25 特1.D 小松建設KK	東京都目黒区緑ヶ丘2287

会員現在数

名 誉	正会員	学生会員	賛 助	特 級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	合 計(増)
62	17 491	3 321	30	19	15	51	203	333	49	21 574 (78)

昭和40年10月10日印刷

昭和40年10月15日発行

土木学会誌 第50巻 第10号

印刷者 大沼正吉 印刷所 株式会社技報堂 東京都港区赤坂溜池5番地
 絵製版印刷者 若林孟夫 絵製版印刷所 若林原色写真工芸社 東京都港区芝金杉川口町20番地
 発行者 羽田 巖 発行所 社団法人土木学会 東京都新宿区四谷一丁目
 定 価 250円(送料15円) 振替 東京16828番 電話 (351) 5130(編集直道)・5138・5139番